

## 次期計画策定に向けた調査について

### 1 計画策定に向けて国の調査項目を踏まえ実施する調査

#### (1) 函館市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

目的	日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況や置かれている環境、生活上の課題等を把握するほか、回答者の健康維持への意識向上を図る
概要	(1) 対象者および調査票発送数 ① 非認定者 …4,512人 要支援・要介護認定者および基本チェックリスト該当者を除く高齢者 ② 要支援者等…3,476人 要支援認定者または基本チェックリスト該当者である高齢者
	(2) 調査方法 無作為抽出した対象者に、郵送により調査票を配布し回収 (調査期間：令和7年11月10日～令和7年12月22日)
	(3) 調査項目数 78項目（国指定の必須項目42+オプション項目8,市独自項目28） 《設問内容》家族・生活状況, 運動, 口腔・栄養, 物忘れ, 閉じこもり, 地域活動など
	(4) 結果アドバイス票 回答内容に応じ, 運動器・口腔・認知機能の低下, 閉じこもり, うつの傾向および栄養状態について, リスクの判定を行うとともにアドバイスを作成し, 回答者に送付する

#### (2) 在宅介護実態調査

目的	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の観点から、本市が取り組むべき施策を検討するため、実現に向けた介護サービスのあり方を検討する
概要	(1) 対象者および調査件数 更新申請・区分変更申請により、現在も要支援・要介護の認定を受けており、在宅で生活をしている者 480人
	(2) 調査方法 地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）を通じ、アンケート方式の調査を行う (調査期間（予定）：令和8年2月下旬～令和8年4月中旬)
	(3) 調査項目数 18項目（基本項目9+オプション項目9） 《設問内容》家族等からの介護の状況, 在宅生活に必要なサービス, 施設入所の検討状況, 傷病の有無, 介護サービス利用の有無, 介護者の勤務形態, 仕事と介護の両立に効果的な支援内容など

## 2 計画策定に向けて本市が独自に行う調査

### (1) 介護保険サービス等の提供に係る事業者意向調査

目 的	次期計画期間における本市の介護保険サービス等提供基盤の状況を把握する
概 要	(1) 対象 本市において介護保険サービスを提供している法人
	(2) 調査方法 メールにより調査票を配付し回収 (調査期間(予定):令和8年4月)
	(3) 調査項目および設問内容(案) 別添資料1のとおり

### (2) 介護保険施設等需給状況調査

目 的	本市における介護保険施設, 居住系サービスおよび在宅サービス事業所の需要と供給のバランスを測る
概 要	(1) 対象 本市において介護保険サービスを提供している以下の事業所 ア 地域包括支援センター, 居宅介護支援事業所, 小規模多機能型居宅介護事業所, 看護小規模多機能型居宅介護事業所 イ 施設・居住系サービス事業所
	(2) 調査方法 メールにより調査票を配付し回収 (調査期間(予定):令和8年5月~6月)
	(3) 調査項目および設問内容(案) 別添資料2のとおり